



デイリースポーツ杯 第10回 早池峰スーパースプリント (M2)

水沢競馬場 3歳以上オープン・ダート850m

6月15日(日) 18:15発走

早池峰スーパースプリントは2016年に創設。第1回から第5回まで盛岡ダート1000mを舞台に行われ、第6回から水沢850mへ移行。岩手競馬における最短距離の重賞となってキラットダイヤが優勝。以降も圧倒的な適性を発揮して3連覇の偉業を達成しました。昨年はダイセンメイトが水沢850m戦を11戦全勝で優勝。両馬とも現在は繁殖生活に入っています。

【注目馬情報】

★ラストバリオン 牡7歳 木村暁きゅう舎・水沢

中山ダート1200m1勝から南関東ヘトレード。大井1000mで5勝、川崎900m2勝から岩手入り。初戦の白嶺賞は1400mが長かったため8着に終わりましたが、2戦目の850m戦を完勝しました。続く盛岡2戦は4、5着でしたが、距離だけではなく直線にある盛岡坂がこたえた印象。今度は平坦水沢850mに替わって持てる能力をフルに発揮。重賞初制覇に王手をかけました。

★ロードオブザチェコ 牡7歳 櫻田康二きゅう舎・盛岡

浦和800m・2歳新馬戦を6馬身差で圧勝。その勝利を含めて南関東2勝2着5回3着4回から中央入り。2勝クラス・中山ダート1200m戦を快勝しました。転入初戦の水沢1400m戦を1秒3差で圧勝して好発進。2戦目はレース間隔が若干開いて太め残りも影響して4着でしたが、ひと叩きされて良化は確実です。

★スターシューター 牡7歳 櫻田浩樹きゅう舎・盛岡

一貫して大井1200m～1400mを走り続けて通算13勝をマークして昨年12月に転入。初戦の850m戦で驚異の上がり34秒0の脚を駆使して快勝しました。今季2戦目には水沢1400m重賞・白嶺賞を制し、重賞ウイナーの仲間入り。以降2戦は着外でしたが、この一戦に照準を合わせて調整を進めてきました。

★カリュウ 牝6歳 伊藤和忍きゅう舎・水沢

中山ダート1200m1勝2着1回、福島ダート1150m1勝2着3回3着1回から中央ダート1400m1勝、ダート1000m・2勝クラスから転入。いきなり重賞が舞台ですが、先行力があるのも魅力。早池SSは過去9回中で6頭もの牝馬が制覇。さらに5年連続で牝馬優勝の期待がかかります

★リュウノメディナ 牡4歳 酒井仁きゅう舎・水沢

南関東2勝・B3級から転入後、4戦3勝。オープン・盛岡1200mで2連勝中と波に乗っています。過去最短は船橋1000m2着のみですが、父がキンシャサノキセキならスーパースプリントも問題なし。

★エイシントルペード 牡4歳 板垣吉則きゅう舎・水沢

門別2勝から中央ダート一戦を使われて園田ヘトレード。園田820m1勝、姫路800m1勝、園田1230m1勝から岩手入り。逃げがベスト戦法ですが、揉まれなければ控える競馬も大丈夫のようです。

文／松尾 康司